

令和 1 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	防火水槽事業	会計名称	一般会計		担当課	危機管理課	
		予算科目	9 款 1 項 3 目	事業番号	3980	所属長名	新田亮仙
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	桂城健恭	
法令根拠等	消防法第20条第1項、消防水利の基準				実施期間	【開始】	令和/平成 17 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 安全・安心に暮らせる災害に強いまちづくり					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	市民の安全・安心の確保のため、防災設備の整備・充実を図る。						
事業の対象	一般市民			事業の目的	消防署、消防団が消火活動に使用する消火栓、防火水槽の維持管理及び放水設備の整備		
事業の内容 (整備内容)	防火水槽・消火栓の設置・修繕、放水設備の設置			昨年度の課題に対する具体的な改善策	水利点検の充実により、不具合の早期発見・早期対応を図り、修繕費の抑制に努めた。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	1年度予定	9月末の実績	1年度実績
直接事業費	1,777	1,408	0	509	0	1,917	消防水利維持	基	969	969	969	969
財源内訳												
国庫支出金	0	0	0	0	0	0						
県支出金	0	0	0	0	0	0						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	0	0	0	0	0	0	防火水槽・消火栓の修繕	基	3	2	0	3
一般財源	1,777	1,408	0	509	0	1,917						
職員の人工(にんく)数	0.10	0.10				0.10	消火栓・防火水槽の新設	基	0	0	0	0
1人工当たりの人件費単価	7,982	7,992				7,992						
※ 直接事業費+人件費	2,575	2,207				2,716						
主な実施主体	直接実施		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)			—	放水設備設置	箇所	0	0	0	0
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	5年間の合計		
					3,324	2,300	2,300	2,300	2,300	12,524		
成果指標	指標	直接事業費の予算の執行割合			単位	区分年度	前年度	1年度	2年度	目標 毎年度		
					%	目標	100	100	100	100		
	指標設定の考え方	消防署及び消防団が延着するおそれのある地域で優先的に水利の設置を図る方針に鑑みて予算上の見込みに対して実施できた進捗を測る。			⇒	実績	93.9	100				
	指標で表せない効果	市街地を有する伊予地域では水利はほぼ充足しており開発行為に伴う水利の増設が進められている。中山、双海地域では、水利の設置により集落内の水利の位置関係等からの消火効率の改善が図られる。										

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		消防水利の新規設置や維持管理を継続的に実施する。									
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	S	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	火事発生時に有効な消防水利として使用できるよう、継続的に維持管理ができたことは成果があったと認識している。		
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5						
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	5						
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	4						
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	5						
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5							
		コスト効率	5 4 3 2 1	4							
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5							
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の方向性 所屬長の課題認識	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 火災発生に備えて平時から消防水利を良好に維持しておくことが重要である。		
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	4						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5						
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	3							
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1	3							
		施策への貢献度	5 4 3 2 1	4							
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	4								
	コスト効率	5 4 3 2 1	4								
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	4								

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>		

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	